



牛牧小だより

October 2022 号外

全国学力学習状況調査の結果について(理科編)

理科において

- 問題を解決するために必要な観察の視点を基に、問題を解決するまでの道筋を構想し、自分の考えをもつことができる。
 - ◎提示された情報を、複数の視点で分析して解釈し、自分の考えをもつことができる
 - ◎観察などで得た結果を、他者の気付きの視点で分析して解釈し、自分の考えをもつことができる
 - メスシリンダーという器具を理解して使い方を身に付けている
 - 自分の予想と実験の結果を基に問題に対するまとめを検討して、改善し、自分の考えをもつことができる
 - ◎観察で得た結果を、問題の視点で分析・解釈して、自分の考えをもつことができる
 - 予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して、問題を解決するまでの道筋を構想し、自分の考えをもつことができる
 - ▲昆虫の体のつくりを理解している
 - ▲結果からいえることは、提示された結果のどこを分析したものなのかを選ぶことができる
- <◎は県・全国の平均回答率よりも5ポイント近く高かった項目>

牛牧小学校の児童の理科は「エネルギー」「粒子」「生命」「地球」のそれぞれを柱とする領域すべてで県平均・全国平均を上回る結果でした。これまで理科を中心に頑張ってきたことが結果となって現れています。そんな中でも「結果からいえることは、提示された結果のどこを分析したものなのかを選ぶことができる」は理科の学習においてとても大切な力であるのに、わずかながらですが下回っています。理科の学習だけでなくすべての教科学習で根拠を明らかにして自分の考えを構築する活動を大切にします。

牛牧小学校では、毎月の学習目標で「話す・聞く・書く」のいずれかに重点を置いて取り組んでいます。学年の発達段階に応じて「伝え合う」「聞き取る」「書ききる」ということを具体化して、「やりぬき賞」の取り組みを展開しています。これからも「学ぶ力」を付ける営みを子どもたちと共に全職員で取り組んでいきます。